



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 203  
February  
2010

## トピックス

### メンバー国との防災協力推進

アジア防災会議2010  
が開催されました

## ●メンバー国との防災協力推進 アジア防災会議2010が開催されました

阪神・淡路大震災から15年目をむかえた2010年1月17～19日、被災地である兵庫県神戸市において、アジア防災会議2010が日本国政府、国連国際防災戦略事務局（UNISDR）及びアジア防災センター（ADRC）の主催により開催されました。また会議は、独立行政法人国際協力機構（JICA）兵庫国際センターからの後援を受けました。会議には、28カ国からの政府高官の出席を含め、53の国際機関や地域機関、非政府組織、学術研究機関、民間機関、市民グループ等の代表238人の参加がありました。



アジア防災会議2010は、ADRCメンバー各国や国際・地域機関からの防災政策立案者・実務者が一同に会し、兵庫行動枠組（2005-2015）の実施過程における各国・各機関における経験や教訓を共有する良い機会となり、兵庫行動枠組の中間評価や2010年10月に韓国で開催される第4回アジア防災閣僚会議の準備過程への重要な見識を与えるものとなりました。

アジア会議で取り上げられた主な議題は以下のとおりです。

1. 近年のアジアにおける災害の経験から得た教訓
2. 兵庫行動枠組（2005-2015）実施の進捗とギャップ
3. 宇宙技術をはじめとする技術革新の防災への利用促進
4. サブ・リージョナルにおける防災協力体制の強化

### [議事概要]

アジア防災会議2010は、日本の中井治防災担当大臣からの災害被害を考慮した安全な国づくり、地域づくりを進めることが各国共通の大きな課題であり、この認識のもと弛まぬ努力が必要であるという力強いメッセージにより開会しました。またJICAの大島賢三副理事からは、世界的な気候変動による影響を考慮しながら国際防災協力を推進していくことが重要であるというメッセージとともにご挨拶がありました。そして、ADRCの伊藤滋センター長からは、ACDR2010への期待の言葉が述べられました。



引き続き、国連事務次長補（防災担当）兼兵庫行動枠組実施のための事務総長特別代表であるマルガレータ・ワルストロム氏より「兵庫行動枠組の実施5年：中間レビュー」と題した基調講演があり、経済及び地域開発にあたって、防災への配慮を行うことの重要性を強調するとともに

Asian Disaster  
Reduction Center  
アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 ひと未来館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

© ADRC 2010

## 続き

に、すべての参加者に向け兵庫行動枠組の目標の達成に向けてさらなる取り組みを行っていかうとの呼びかけが行われました。

会議におけるパブリック・フォーラムおよび3つのセッションでの活発な議論を通して、各国、各組織が着実に検討をしていく必要がある課題として下記の点が取り上げられました。



- 気候変動に関連した自然災害リスクについての対応
- 都市での災害リスクへの対応
- 災害の経験や教訓を忘れずに、次の世代に伝えること
- 国レベルだけではなく、地方やコミュニティのレベルで自然災害への対応や防災のための能力強化を推進していくこと
- 防災分野における衛星技術等のなお一層の利用を促進するために、その利用の有効性について啓発するとともに、それに関わる防災機関の職員等を対象とした研修、人材育成等の事業の充実を図っていくこと
- 防災活動の組織化を更に促進し、地域やサブリージョンでの協力体制を整備すること

### [主な成果]

アジア防災会議2010における議論の結果、特に兵庫行動枠組（2005-2015）の中間レビューや2010年10月25～28日に韓国のインチョンで気候変動適応と防災をテーマとして行われる第四次アジア防災閣僚会合の実施を鑑み、以下の点について引き続き検討していくことが提案されました。

- すべてのレベルにおいて気候変動適応と防災を包括的に取り組み、連携させること
- 土地利用計画、災害に脆弱な居住地域の管理、効果的な防災のための知識や能力開発を通じて、より積極的に都市災害軽減にむけて取り組むこと
- 地域、国家、地方、コミュニティのそれぞれのレベルで先進技術の防災目的の利用を促進していくための政策決定能力及び組織的能力を強化していくこと
- 研修、教育、優良事例・新しい技術・考えの共有を通して、人とコミュニティの防災能力を向上すること
- サブリージョン内の国々、サブリージョン間の協力関係を強化すること

最後に、ご発表者の方々による大変有用で示唆に富んださまざまな事例のご紹介と参加者のみなさまの積極的なご参加によって、ACDR2010が成功裏に終了することができましたこと、ここに改めて御礼申し上げます。アジア防災センターは、引き続き本会議で検討されたことをフォローアップしながらアジア地域での国際防災協力を推進していく所存です。

さらに詳しい情報については、下記ウェブサイトをご参照ください。  
([http://www.adrc.asia/acdr/2010\\_index\\_j.html](http://www.adrc.asia/acdr/2010_index_j.html)).

### 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は  
[editor@adrc.asia](mailto:editor@adrc.asia) までEメールをお寄せください。